

Sakai, M., Morisaka, T., Kogi, K., Hishii, T., and Kohshima, S. 2010.

Fine-scale analysis of synchronous breathing in wild Indo-Pacific bottlenose dolphins (*Tursiops aduncus*).

Behavioural Processes 83: 48-53.

日本語タイトル

野生ミナミハンドウイルカにおける呼吸同調の詳細分析

要旨日本語訳

御蔵島に生息する野生ミナミハンドウイルカにおいて、ペアによる呼吸同調の量的分析を行った。ほとんどの例で、ペアは同じ方向を向き(97%)、近接し(1.5m以内)、並行して泳ぎながら息を合わせていた。さらに、ペアは呼吸同調の前後で同じ行動に参加していた。これらの結果は、イルカは自らの動きを同調させていて、同調呼吸は“ペア遊泳”という親和的社会行動の一部であることを示唆する。母子ペア、エスコートとコドモのペア、オトナやワカモノでは同性・同成長段階のペアが、頻繁に呼吸同調を行った。同調呼吸中の個体間距離は、母子ペアが他のペアよりも小さく、メスペアがオスペアよりも小さかった。同調呼吸中の呼気の時間差は、メスペアの方がオスペアよりも小さく、オトナペアの方がワカモノペアよりも小さかった。これらの結果は、性や成長段階がこの行動の特性に影響することを示している。

訳者: 酒井麻衣 翻訳日: 2012年4月26日

※日本語要旨は第一著者の承諾の元に作成しました。訳者が第一著者でない場合、訳文の品質には責任を負いかねます。正確な情報をご入り用の場合は、原文をご覧ください。